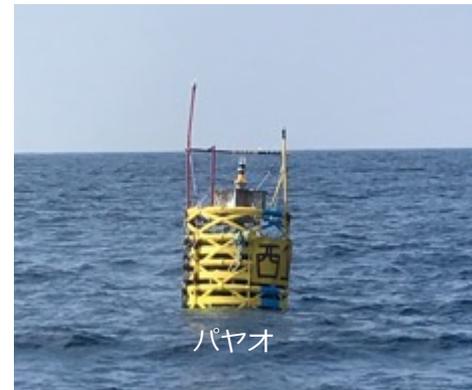




パヤオナビ®は洋上のパヤオ（浮漁礁）の位置や周辺潮流情報を複合的な無線技術によって可視化し、漁師の操業情報を入力・可視化できるSaaS型スマート水産である。

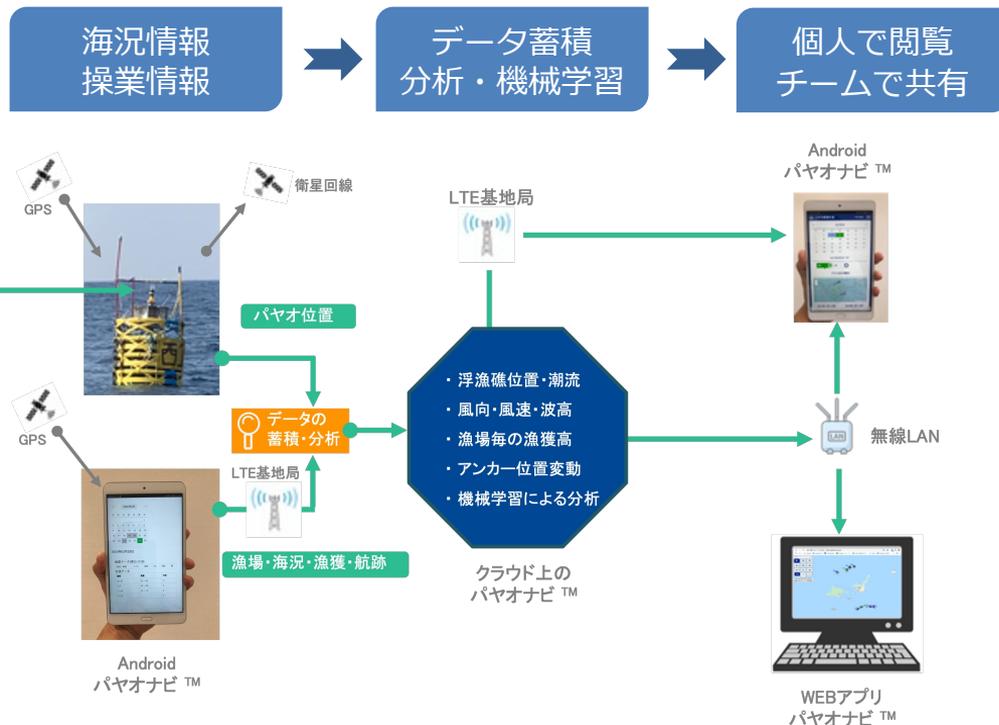
本件は、沖縄県石垣市に本部を有する八重山漁業協同組合における活用事例を紹介する。



パヤオ



パヤオはアンカーとロープで接続され漂流物に回遊魚が集まる習性を利用する



探索時間の削減・適正な漁場選択を支援

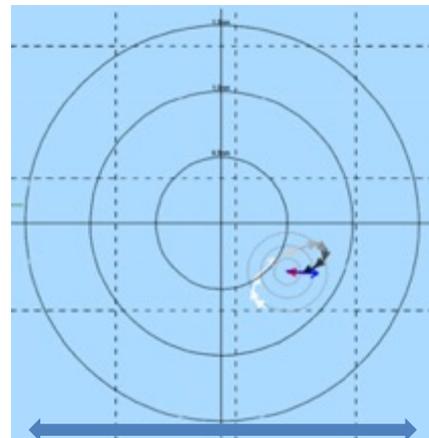


八重山漁協が管理するパヤオ

可視化された海況・操業情報がもたらす導入効果として、「パヤオ位置情報活用による探索時間と燃料費の削減」のみならず、「潮流の遠隔情報が適正な漁場選択を平易化し、漁獲高が向上」した。また、IT機器に慣れ親しんだ若手漁師のコミュニティが活性化し、離職率低減を期待している。



パヤオの位置と毎時の移動量



直径 3海里

導入前

パヤオ探索時間

パヤオは±2kmの範囲を浮遊しているので波高時や霧が出ると見つけにくい。探索時間を**15~60分**程度費やした。

導入後

探索時間が**2分以下(迷わず)**になった。時間と燃料の浪費を削減した

漁場選択ミス

パヤオ周辺の海況は現地に行くまでわからない。漁場選択ミスが**約70%**だった。

出港前に漁場全ての潮流を確認できる。漁場選択ミスが**13.4%**に激減した。

個人操業 vs チーム

自分の漁場や漁獲量は他人に知らせず秘匿しておきたい。漁場選択は勘と経験に頼っていた。

20隻の若手船長のコミュニティで漁場や漁獲結果を**情報共有**している。

導入効果と社会貢献



利用当事者である漁師の収益改善はもとより、八重山地方の離島雇用対策に貢献していくことが期待されている。また、漁獲高のデータ蓄積は水産資源量のサンプリングデータとして活用し、水産資源の現状を把握するとともに、将来の漁獲制限を検討する際にも有益な基礎データとなる。

本件の問い合わせ先 / 紹介ホームページ
Upside 合同会社 info@upside-llc.com
URL : <https://upside-llc.com>



漁師への導入効果

漁師の収益改善
個人からチーム活動へ発展・組合の活性化



地域社会への貢献

若手漁師の離職率低減と離島雇用対策
航行の安全



ユニバーサルな貢献

漁獲高のデータ蓄積 / 科学的な管理計画



SDGs 14
海の豊かさを守ろう

